

議事要旨

1 会議名	第2回 吹田市資源リサイクルセンター指定管理者候補者選 定委員会
2 次第	(1) 開会 (2) 指定管理者へのヒアリング (3) 第三者モニタリング・評価 ア 通常の第三者モニタリングの評価 イ 非公募妥当性確認に係る第三者モニタリングの評価 (4) 答申内容の審議 (5) 今後のスケジュール説明 (6) 閉会
3 開催日時	令和7年11月25日(火) 午前10時～午後0時
4 開催場所	吹田市役所 災害対策本部会議室
5 出席委員(50音順)	天野委員、植田委員、原田委員、松田委員、良永委員
6 公開・非公開の別	非公開
7 非公開の理由	吹田市情報公開条例第7条第3号及び同条第4号に該当する 情報を取り扱うため

8 発言等の要旨	
	<p>(2) 指定管理者へのヒアリング</p> <p>委員 現在実施している事業のうち、自主事業と受託事業のそれぞれの割合を教えてほしい。また、キッズスクールや環境スクールがあるが他に人材育成に係る事業についても教えてほしい。</p> <p>指定管理者 事業の割合を一概には言うことは難しいが、人件費は指定管理料で賄っているが、直接的な事業費分としては受託事業が4割、自主事業が6割程度である。人材育成という点では、地域ESD拠点として、学校を巻き込んだ事業を展開できないかと考えている。</p>

委員 SNS のフォロワー数を増やしていく方法について、ある程度の知識を持った人材が広報専門の役割を担っているのか。

指定管理者 広報専門の職員の配置は難しい状況だが、現在は比較的若手の職員を中心に取り組んでいる。

委員 Instagram・X・Facebook 等はフォロワーがいなければ見てもらえないメディアであるため、わたしたちはフォロワーでなくてもアルゴリズムで閲覧されていく TikTok の活用を強化している。今後のメディア戦略を教えてほしい。

指定管理者 動画について、作成できるものも増えてきているため、力を入れていきたいと考えている。

委員 情報発信は正解がないものであるが、若いひとは切り抜き動画をあっという間に作成できるため、学生サポーター等に動画作成を担ってもらった方が簡単ではないかと思う。

指定管理者 参考にしたい。

委員 施設のセンスアップ事業を実施するにあたり、指定管理料に新たに当該事業の予算を加えているのか。もしそうであれば、簡易課税制度の適用ができなくなり事務負担が増えると考えているかがか。

指定管理者 センスアップ事業は、前回の第三者モニタリング評価にて施設の見栄えが悪い・古いとの指摘を受け、また、指定管理料の返還金が生じていることから、この返還金を有効活用して施設をいいものにしていく方法を市と協議し、実施している。そのため、新たに予算を計上しているものではない。

委員 今後5年間の運営状況を評価するうえで、60代の職員が3名勤務しているが定年は何歳か。また、人員募集の状況はいかがか。

指定管理者 財団の定年は66歳であり、高齢者雇用安定法の努力義務を受け、70歳まで再雇用できる制度を設けており、現在、再雇用職員も勤務してい

る。人員募集については、何人かの応募はあるものの、最近は辞退されるケースがあり、厳しい状況である。

委員 コメントのため回答は不要であるが、神奈川県鎌倉市では、「キエーロ」という電源不要の木製生ごみ処理機の普及が大きな成果を上げている。こういった先進事例を研究し、現在実施している取組を発展させていければいいのではないか。市民が普段の生活のなかで、ごみ削減を実感できるような取組を検討してほしい。

委員 令和6年度に生じた217万円程度の返還金は、経費削減に努めた結果だと認識しているが、これを一時金のようなかたちで職員に還元することはできないのか。

指定管理者 返還金を人件費に充てることは難しいと考えている。指定管理を受託する側としては、いかに指定管理料のなかで効率的に運営をしてくか、また、自主財源を増やして人件費に充てていくかが課題であると考えている。

委員 出捐金は国債のみで運用しているとのことであったが、物価上昇率に国債利率が追いついていない現状では財産が目減りしていくため、資産運用は検討が必要ではないか。

指定管理者 超長期国債の動きの見極めが難しい状況のため、判断に苦慮している。証券会社とも意見交換しており、理事会でも意見を諮りつつ、方向性を決めていきたいと考えている。

委員 他団体との連携について、全国の他団体との連携や3Rやごみゼロに取り組む団体が集まる会合等に参加し連携を進めていく計画はあるか。

指定管理者 当財団は、大阪学院大学とは基本協定を、環境学習施設である京エコロジーセンターの指定管理者である（公財）京都市環境保全活動推進協会とは覚書を交わし、連携を進めている。京エコロジーセンターにて行われた日韓環境教育ミーティングに参加した。

委員 職員のエコ検定の合格率はどの程度か。

指定管理者 以前に1度だけ、不合格があったが、そのほかは1度で合格している。

委員 エコ検定受験者からは、「受験していてよかった」「今役に立っている」との声をよく聞くため、今後も受験の推奨を継続してほしい。

指定管理者 承知した。

## (2) 第三者モニタリング・評価

### ア 通常のモニタリングの評価

各委員が通常の第三者モニタリング・評価シートに関して、第三者の評価を行った。

### イ 非公募妥当性確認に係るモニタリング評価

各委員が非公募妥当性確認に係る第三者モニタリング・評価シートに関して、第三者の評価を行った。

## (3) 答申内容の審議

事務局 通常のモニタリング評価シートは各委員の評価シートを取りまとめて、最終的に委員会として一つの評価とする。そのため、最終評価の方向性を定めたい。

委員 委員の間でバラつきのある項目については、議論が必要かと思う。

事務局 最終的には第3回委員会で取りまとめていければと考えている。今回は評価だけいただいているが、このようなコメントを考えている等があれば御発言いただき、評価の方向性を御審議いただきたい。

委員 各委員の評価で、C評価はない。バラつきがあるとはいえ、単純に平均をとって差支えないと考えるがいかがか。

委員 各委員の評価を平均することに異議はないが、バラつきがある項目については、議論をしたい。

1-(3)「環境配慮」については、具体的な情報が不足しており、判断が難しかった。

2-(2)-エのうち「施設の広報」については、SNS等の広報という点で判断するかパンフレットや市報等を含めた広報という点で判断するかで評価が迷うところであった。SNS等はやや物足りないが、パンフレット等一般的な広報は適切に実施されていると評価した。

委員 SNS等の広報に関しては、適切なのかという点で私も判断を迷ったところである。私自身も取り組んでいるが、フォロワーが増えないのは一般的な共通課題である。取組が不適切かと言えば不適切ではない、一方で課題があると言えば課題があるとも言えるため、判断に迷ったが、安定的に努力されている点を評価した。

委員 何に重きを置いて評価するかで違ってくると考える。過程で評価すると「頑張っている」と評価されるが、結果はどうかや将来に向けて取り組んでいるか、という点では少し弱いとの判断となり、評価が下がる。

委員 各々さまざまな判断があってもいいかと考えるが、S評価があってもいいかと思うがいかがか。

委員 1-(2)「経費縮減」と(3)「環境配慮」の項目について、判断に悩んだ項目であったため、評価を入れ替えて、「経費縮減」をS、「環境配慮」をAとしたい。

広報関係の項目について、内容は充実しており、発信もしっかりしているものの、認知度は不足していると感じ、広がりが必要だとの思いもあり、悩んだところである。

委員 個々の判断よりも、評価は平均点でいいのではないか。単純に平均にしたわけではなく、委員会で議論をしたうえでこのような判断となっているため、適切に判断がなされていると考える。

事務局 後日送付をお願いしている評価コメントにて、「この部分はすごく評価しているけれども、この部分はもう少し頑張ってもらいたい」と議論が分かるかたちで取りまとめたいと考える。

委員 意見の対立があるわけではないため、評価については第3回委員会で調整することとしたい。

9 その他	吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針第12項の規定により、議事要旨を公表